

第 6 回 杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 質問に対する回答

構成員からのご意見カード

【意見・質問事項】	【回答】
<p>司会者を交代させて下さい。</p> <p>地上部道路は、整備していただきたいが、都の案の道路は、現実的に細かい生活道路を無視し、地図上にスケールで線を引いただけのようにみえます。住民に意見を聞いて便利な道路を作っていただきたいと思いますが、いつになったら、そういう話し合いができるのでしょうか。</p> <p>司会者は発言者の意見をまとめたり、促したりしなくてはいけないのになにもできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ご意見については、司会者と共有させていただき、今後、円滑な議事進行ができるように事務局としても努力してまいります。
<p>自主的に構成員に応募し、抽選で選ばれて責任を持って参加し続けていますが、今後も話し合いの会が何年も続くようでしたら、参加し続けるのは苦しくなっていくと思います。スムーズに意見を聞いて進行できる司会者に交代していただきたいのですが、そのためにはどのようにしなければいけないのでしょうか。手続きの仕方を教えて下さい。</p>	
<p>今回の会合の冒頭から前回の会議の話し足りない部分からスタート、一方的な外環に対しての細部にわたる専門的な知識の説明がほとんどで杉並区における地上部街路に関する話し合いの会の主旨から外れているのではないかと感じます。検討委員会なのだからもっとどうすればより良い環境、住みやすい安心・安全な地域に成るかの話し合いのみで進んでいきたい。いつも通りの進まない会合ですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 円滑な議事進行ができるように事務局として努力してまいります。 • ご指摘の良い環境、住みやすい安心・安全等の視点でしっかりと話し合いを行っていきたいと考えております。 • 今後、検討のプロセスにおける必要性を検討するためのデータ（整備効果・影響データ等）について、構成員の皆様のご意見を伺いながら、話し合いを行っていく予定です。
<p>この会は、特定地域の住民代表、その援護者（傍聴）が、毎回長々と反対論をぶつ時間が長く、無駄に過ぎていると思います。</p> <p>公共のために、あるいはお国のために、少々の不便は我慢するといった考え方がゼロの人達のために都内在住 10 百万人が不便させられている（私鉄：西武・井の頭の踏み切りひとつとっても）ことが理解できていないのが現状だと思っています。</p>	
<p>次第の中の「前回の議事録」について、現状では「前回の議事録の確認について」というと単に議事録と議事要旨の 2 点のみについて発言内容と記載内容があるかだけをチェックしています。</p> <p>その内容についての疑問や質問等は全く別扱いの姿勢というのは全くおかしいと思います。それも現在最も議題となっているテーマであるにもかかわらず、次第の最末尾に取上げるように</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 次第のうち「前回の議事録の確認について」では議事録と議事要旨公表前に、構成員の皆様にご確認をさせていただくことを目的に行っております。

<p>するなどというのは全く論外だと思います。今後もこの様なケースが多いと思われます。取り組み中のテーマについては、その日の内に取り上げるようにして下さい。前回の議事録に関連する質問・疑問等は必ず前回の議事の確認の中で行うようにして下さい。</p>	
<p>データ更新一覧表について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 資料番号を取番して下さい。 ② 話し合いの会のホームページにも資料としてアップして下さい。(3/25現在アップされていません) ③ 記載事項の中に訂正があるとのことで、先日の話し合いの会で読み上げられましたが、全くついていけませんでした。大事な表ですから必ず修正版を再配布して下さい。(その際、旧番と識別出来る様にして下さい) 	<ul style="list-style-type: none"> • データ更新一覧表については、参考資料として修正したものを、後日ホームページに公表いたします。 • 修正版については再配布いたします。
<p>地上部街路の整備により周辺道路の交通の流れがスムーズになり、自動車からのCO2排出量が東京都全域で約 6000 t-CO2/年削減されます。</p> <p>平成24年10月東京都都市整備局作成：地上部街路に関する必要性（整備効果）のデータについて（杉並区版）（改訂版）</p> <p>住民としてはCO2が約6000t/年削減されると言われても計算過程を、明示していない状況では理解できない。</p> <p>CO2削減効果の計算過程の根拠数値を具体的に明示せよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外環の2建設による交通渋滞解消影響地域の明示 ② 影響地域を走行している既存の車の速度と台数 ③ 外環の2建設により予測される走行する車の速度と台数 ④ 影響地域を走行している既存の車の燃料消費量 ⑤ 外環の2建設により予測される走行する車の燃料消費量 <p>上記1～5の数値はCO2削減数値算出過程で必要不可欠のものであるから速やかに数値を公表せよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 資料6-5と同様の内容であり、議事次第4「地域の必要性（整備効果）のデータについて」の中でご説明いただくこととしております。その後、質疑応答・意見交換をさせて頂きたいと思っております。
<p>平成25年5月8日の次第4地域のデータについて上記のデータを議論する前に</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 都市計画規模縮小案と廃止に伴う代替機能案を公開する ② 現行の計画案と上記の2つの案を比較検討する場所をつくる ③ 上記の3案は話し合いの会の最重要課題の 	<ul style="list-style-type: none"> • 話し合いの会の進め方については、平成23年6月に開催した運営に関する打合せにおいて話し合い、地域の現状・課題、地上部街路の必要性（効果）、必要性（影響）、あり方などについて進めていくこととしております。 • 「本会の構成員以外も含めた拡大された話し合いの会」については、まずは本会での議論を深めていくことが

<p>ため本会の構成員以外も含めた拡大された話し合いの会を開く。</p>	<p>必要と考えており、現時点での上記の会の開催は考えておりません。</p>
<p>ギリシャの議会制民主主義において、相手の質問に対してはぐらかして回答するときは、回答拒絶とみなされ、さらに相手の主張を認めたとされる原則が現在では欧米で不文律として認知されている。東京都は相手の質問を常にすり替えて回答して、上手に言い逃れたと思っているが、逆に矛盾した発言により益々混迷を深めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 説明の際には、わかりやすい説明を行うように努力します。
<p>議事録について、出席者の発言を無視して、削除または創作した箇所がある。発言記録に基づき正確に再度編集すべきである。今回の議事録は到底容認できない。作文なら合格点ですが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 議事録の作成については、録音された音声から書き起しており、マイクを通していない発言や聞き取りにくい部分等については誤記や漏れが生じる可能性があります。このため、構成員の皆様には話し合いの回の前に事前に送付し、内容について確認していただいております。その際いただいた修正事項については、可能な限り対応しております。ご指摘を踏まえ、更に努力してまいります。
<p>議事要旨について、議事録 P29、30、31の要旨は、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 東京都は、国と東京都は役割分担で受注した • 国は対応の方針の中でやる • 司会者がイエスイエスで理解したと回答 <p>上記の矛盾点について、東京都と国は、時間切れだったら次回にしっかりと答えてもらいたいと宿題を明確に提起した。最も重要な宿題を削除しているので、宿題の部分のを要旨に入れるべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 第5回の話し合いの会の議事要旨（資料6-2）については、第6回の話し合いの会でご確認いただき、既にホームページにて公表しております。